

SKIPシティC1街区施設建設基本計画

令和4年5月

川口市

1. 建築計画コンセプト

本市の産業振興・産業発信拠点として、まちの一体感と利用者・地域住民に愛される施設を目指す

■産業振興・産業発信拠点としての整備

- ① 展示会、商談会などが開催できるコンベンションホール
- ② 事業者支援施策をワンストップで受けられるビジネスサポートセンター
- ③ 地場産業の伝承と次世代就労者を創出する産業資料館

以上の3用途を、誰もが利用できる交流創造広場と広々としたエントランスホールでつなぎ、地域の交流と産業振興に係る多様な活動を誘発する計画とする。

■多様な活動を誘発する交流創造広場とエントランスホールを中心とした計画

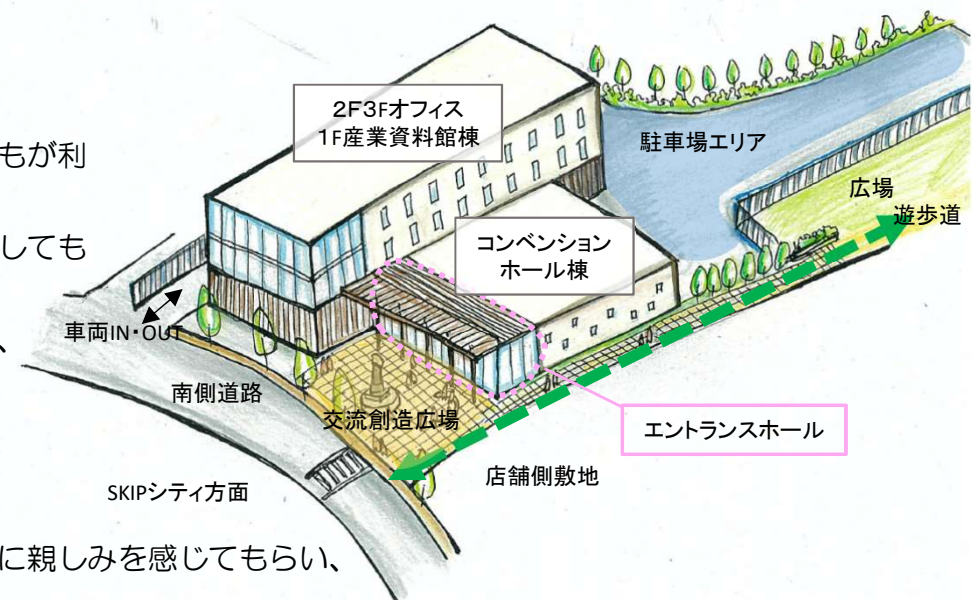
SKIPシティ内の交流創造の役割を果たす機能として、メインアプローチに誰もが利用できる緑にあふれた交流創造広場を配置。

イベントやワークショップ等での使用に加え、施設に集う方々の休憩スペースとしても活用する。

また、交流創造広場は一体的に利用できる開放的なエントランスホールを設置し、多彩な活動を誘発するきっかけとしての機能を担う。

■親しみやすさ、立ち寄りやすさの演出

SKIPシティ側の南側道路に開かれた外観とすることで、来訪者、通行する人に親しみを感じてもらい、気軽に立ち寄りやすい施設となるよう計画する。



※あくまでイメージです

2. 敷地設定と外部空間計画

SKIPシティ全体の一体感を醸成する敷地設定



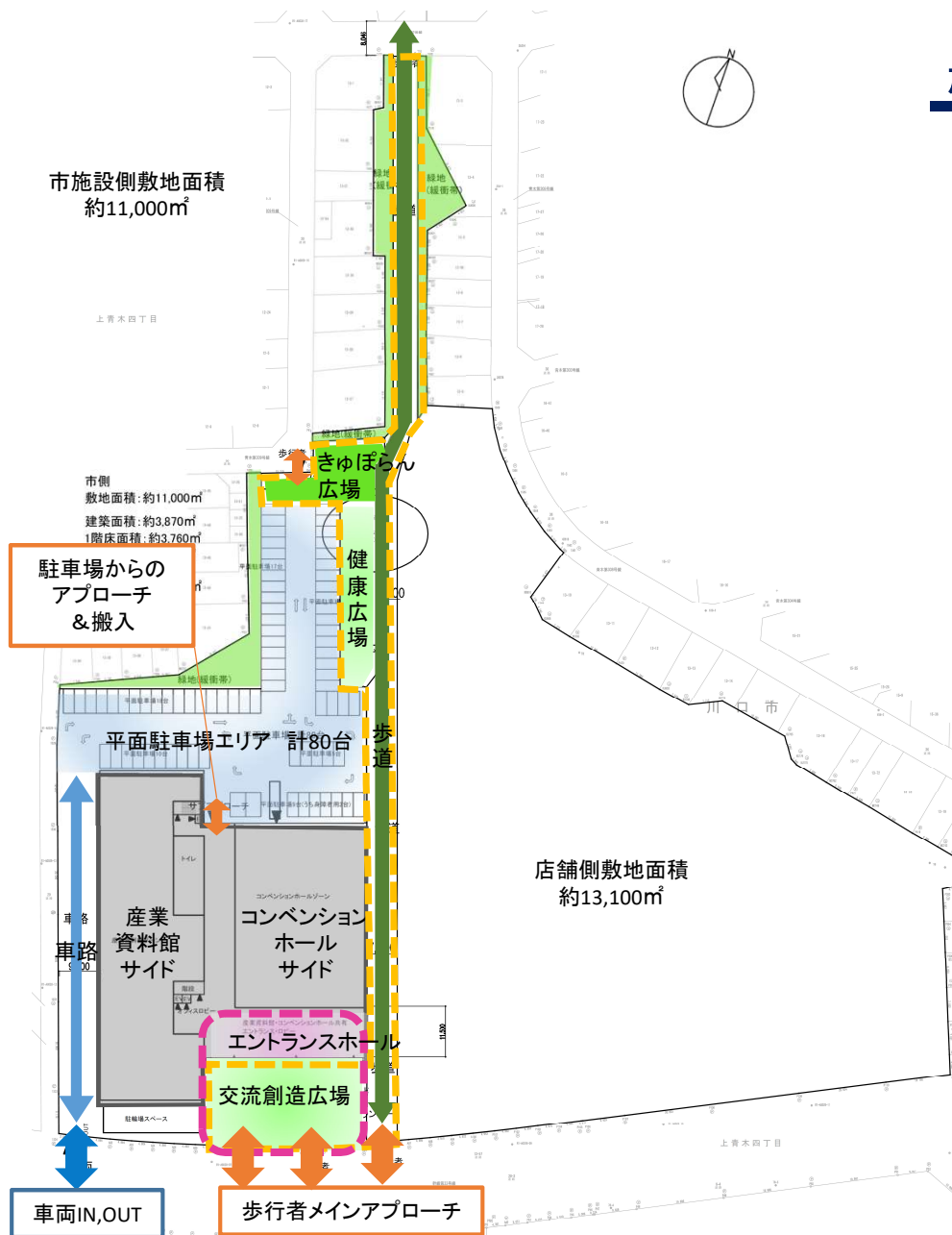
■敷地内外を南北に貫くプロムナードの整備

A街区とB街区を南北に貫く既存プロムナード ■ に連続する形で、新たなプロムナード ■ を配置することで、SKIPシティからのアクセス性・連続性を確保

■SKIPシティ全体の一体性を演出する広場の配置

プロムナードに沿って広場を複数配置することで、全ての広場とプロムナードが1本の軸で繋がるよう計画し、各街区どうしの一体性を演出する。

3. 外構計画と動線計画



施設配置計画・動線計画の骨子

■ エントランスホールと交流創造広場を一体的に整備

エントランスホールは、メインアプローチとなる交流創造広場に連続する形で配置し、開放的なエントランス空間とすることで、外に開かれた施設を演出する。また、エントランスホールと交流創造広場は一体的に利用可能な計画とし、様々なイベントで幅広く活用できる仕様とする。

■ 歩行者の安全安心に配慮した動線計画

メインアプローチは南側の道路とし、歩行者ゾーンと車両ゾーンを明確に分けることで、歩行者・各広場の利用者の安全性に配慮した計画とする。

■ 隣接する住宅地へ配慮した外構・配置計画

隣地境界線には緩衝帯として緑地を配置する。駐車場エリアを敷地北側、建物を敷地南側に配置することで、隣地への圧迫感軽減と日影に配慮した計画とする。また、車両の出入りを南側道路に限定することで、隣接する住宅地の狭幅員の道路への負荷に配慮した計画とする。

4. 平面計画

■ 多彩な活動を促す共有エントランスロビー

交流創造広場と連続したガラス張りの開放的なエントランスロビーは、様々なイベントに対応できる仕様とする。

また、上部に庇をはりだし、ガラス張りのエントランスホールへの南側からの直射日光を適度に遮ることで環境負荷低減を図る。

■ 大小様々な活動に対応したコンベンションホール

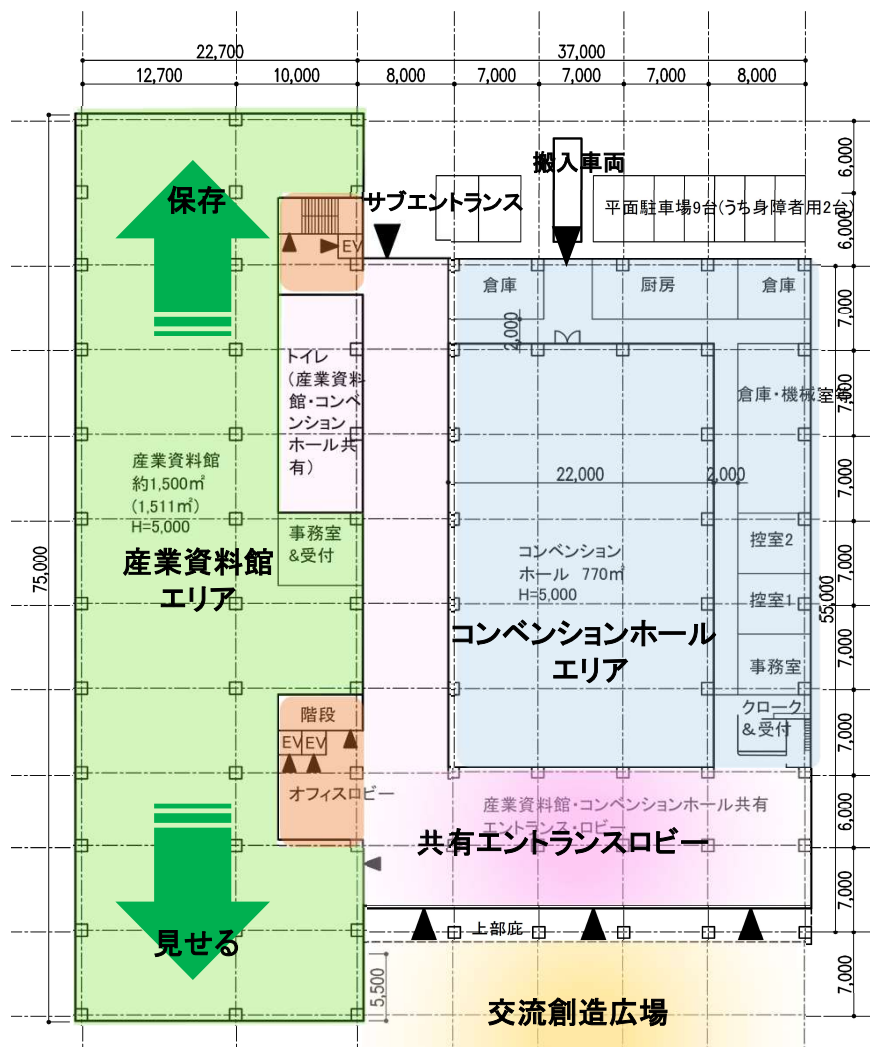
コンベンションホールは無柱の大空間として設計することで、大規模な催事に対応できる仕様とし、短辺方向に可動間仕切りを設置することで中・小規模の活動にも対応できる仕様とする。

また、搬出入経路はコンベンションホールエリアに直接アクセスできる仕様とし利便性の向上を図る。

■ 貴重な資料の「保存」と「見せる」を両立させた産業資料館

産業資料館は、南北に長い形状を活かして南側は外に開かれた「見せる展示」を可能に、北側は日光を遮り大切な資料保存に適した空間として活用できる。

また、搬出入経路についても倉庫に直接アクセスできる仕様とし利便性の向上を図る。



1階平面図